

教育委員会会議録〔詳細〕は、市役所１号館２階の市政資料室で公開しています。

.....

佐倉市教育委員会会議録〔会議概要〕

令和６年４月教育委員会会議：定例会

期 日 令和６年４月１７日（水） 開会 午後２時００分
閉会 午後３時３５分

会 場 社会福祉センター３階中会議室

出席委員 圓城寺一雄 教育長 吉村真理子 教育長職務代理者
菅谷 義範 委員 熊倉 夏子 委員
柴内 靖 委員

傍 聴 者 ２名

出席職員	教 育 長 圓城寺一雄(再掲)	教 育 部 長 緑川 義徳
	教育部参事(学務課長事務取扱) 村上 武宏	教育部参事(指導課長事務取扱) 榎本 泰之
	教育総務課長 宮崎由美子	教育センター所長 神成 裕尊
	社会教育課長 舎人 樹央	教育総務課施設班長 新川 ゆか
	教育総務課企画財務班長 伊藤 浩司	教育総務課企画財務班 林 真理子
事 務 局	教育総務課教育総務班長 千々岩和代	教育総務課教育総務班 小高 純

〈 会議概要 〉

１ 教育長開会宣言

２ 報告事項

① 教育長より３件報告

令和６年度の入学式・入園式について、４月１２日開催の第１回校長会議について、４月１６日開催の印旛地区教育委員会連絡協議会定期総会についての主な内容について報告する。

１点目、令和６年度の入学式・入園式について。入学式は、全ての中学校が４月９日、小学校は、間野台小学校が４月１１日で、それ以外の全ての小学校が４月１０日、入園式は４月９日に開催した。いずれも滞りなく終了し、新たなスタートを各学校、園で切った。

なお、新園児は７人、小学校の新入生が１,１６３人、中学校の新入生は１,２６２

人であった。

次に、校長会議について。年度初めに当たり、大きく2点の話をした。

1点目として、学校の活性化策の一つとして特に今年度は佐倉型カリキュラムの検討、実践を通して児童生徒に自己肯定感を育む指導にリーダーシップを発揮していただきたいということをお願いした。

2点目、教職員の育成について、教職員の長所、よいところを伝えて自信を持たせる指導をお願いした。学級経営や教科指導等のよいところを校長が価値づけすることで、自分の実践に自信を持たせること。さらに、リーダー養成も視野に他の職員に指導していくことのやりがいを説いていくこともお願いした。また、児童生徒への指導の場面においても、子どもたちが自信のあることを増やしたり、自慢できることを探せたり、自分には、これがあるから大丈夫だというような気持ちを育んでいく指導を先生方にしていただくようお願いした。

次に、3点目。印旛地区教育委員会連絡協議会定期総会について。令和6年度印旛地区教育委員会連絡協議会定期総会が、昨日4月16日に成田市のホテルウェルコ成田で開催され、吉村教育長職務代理者、柴内委員、熊倉委員とともに出席した。令和6年度印旛地区教育委員会連絡協議会の会長には、佐倉市の吉村教育長職務代理者、副会長には八街市の山田良子委員、同じく副会長に四街道市の府川雅司教育長が選任された。また、令和5年度からは佐倉市が事務局を担当しており、引き続き学務課が事務局を担当することになっている。

② 令和6年2月市議会定例会について【教育総務課長】

令和6年2月市議会定例会について報告する。

資料1ページ、令和6年2月定例会佐倉市議会議決結果一覧である。2月市議会定例会は、2月26日月曜日から3月26日火曜日までの30日間を会期として行われた。

初めに、教育委員会に関連する議案について報告する。議案については、議案第1号、議案第11号、議案第18号が賛成多数により可決となった。

続いて、一般質問について報告する。答弁記録の表紙の次、1ページ。教育委員会関係の質問については14名の議員からあった。質問及び答弁の概要については、11ページから56ページまでとなる。主な内容としては、不登校児童生徒への対応、部活動の地域移行、佐倉市立幼稚園に関する事など、多岐にわたる質問があった。

③ 教育委員会の人事異動について【教育総務課長】

令和6年4月1日付の教育委員会の人事異動について報告する。

資料の1ページ、管理職関係職員の新旧一覧表。個々の異動については省略するので、資料により確認をお願いする。

2ページ、3ページが管理職以外の異動者、昇格者、退職者等の一覧。併せて確認をお願いする。

なお、教育委員会の職員数は、令和6年4月1日現在、教育長、一般職員のほか再任用職員等含めて133名である。

④ 情報公開について【教育総務課長】

情報公開について報告する。

佐倉市教育委員会における佐倉市情報公開条例施行規則第4条及び佐倉市教育委員会における個人情報の保護に関する事務処理規則第4条では、開示請求に関して所属長において専決、開示等した場合には、教育委員会議に報告する旨が規定されている。今回は、令和5年10月から令和6年3月までの情報について報告する。

資料のとおり、請求内容の全部を開示する全部開示が6件、請求内容の一部を開示する部分開示が5件、開示をしない不開示が4件となっている。部分開示の理由としては、主に個人や法人の情報に関わる部分を除いて開示している。また、不開示の理由としては、主に文書不存在となっている。

⑤ 令和6年度佐倉市立幼稚園、小・中学校一覧について【学務課長】

令和6年度佐倉市立幼稚園、小・中学校一覧について報告する。

最初に、小中学校の学級数について。小学校については、通常学級270学級。前年度と比較して3学級の減になっている。

続いて、特別支援学級は、82学級となっており、前年度と比較して2学級増となっている。

次に、中学校。中学校の通常学級については、120学級。前年度と比較して3学級の減になっている。中学校の特別支援学級については、31学級になっており、昨年度と比較して4学級の増となっている。

続いて、児童生徒数について。小学校については、通常学級と特別支援学級の児童合わせて7,077名。中学校については、通常学級と特別支援学級の生徒を合わせて、3,777名。小学校、中学校合計で1万854名。児童生徒数は、前年度と比べて254名の減となっている。

次に、幼稚園児については、今年度、佐倉幼稚園8名で昨年と比べて6名減。県費負担教職員については、小学校、中学校合わせて851名となっている。これは、前年と比べて7名の減。そのうち新規採用職員は、25名。

⑥ 佐倉市立佐倉幼稚園のあり方に関する市民アンケート結果について

【学務課長】

佐倉市立幼稚園のあり方に関する市民アンケート結果について報告する。

1月に佐倉幼稚園のあり方に関するアンケート調査を実施した。内容としては、18歳以上の市民2,000名を無作為抽出して、郵送でアンケートを送付し、ウェブまたは郵送により回答をお願いした。

主な結果としては、743名から回答をいただき、「今後の佐倉幼稚園について、どう思うか」という設問に対し、「閉園はやむ得ないと思う」が約37%、「どちらかといえば閉園はやむ得ないと思う」が約39%、「どちらかといえば維持すべきであると思う」が約18%、「維持すべきであると思う」が約6%という結果を得ている。また、令和6年1月10日に、第3回目のあり方検討会議を実施し、これまでの状況を報告して、会員から今後の進め方などについて意見を頂戴した。

今年度についても、引き続き、あり方検討会議を実施し、検討を継続する

予定である。

⑦ 令和5年度佐倉市小・中学校いじめの状況について【指導課長】

令和5年度のいじめの状況について報告する。

初めに、いじめの認知件数について、小中学校合わせて583件であった。令和4年度末との比較は、小中学校別で確認すると、小学校は13件の増加、中学校は48件の増加で、全体では61件増加している状況。現在、教職員一人一人が積極的にいじめと認知すること、個人で判断せず、いじめと認知とした上で情報を共有して学校全体で指導に当たることに努めている。

2番のいじめの状況は、解消に向けて取組中の事案が148件となっている。これは、いじめを認知してから3か月を経過観察期間としていることから、まだ3か月を経過していない件数が148件となっている。

3番のいじめの内容としては、昨年度と同様に冷やかしかからかい、悪口などが最も多く、全体の半数を超えている。なお、このいじめの内容については、国、県に報告するための内容の抜粋になっている。

4番のいじめの発見のきっかけについては、本人及び本人の保護者からの訴えが最も多くなっている。これは、学校や教職員への相談しやすい環境が整っているからだと捉えている。

今年度も、いじめの月例調査の継続、学校支援アドバイザーとの連携を図りながら、いじめの早期発見に努め、迅速かつ丁寧に対応していく。

⑧ 感染症の状況について【指導課長】

感染症について、昨年度並びに4月1日から4月12日までの報告をする。

まず初めに、令和5年度については、インフルエンザが5,669名、新型コロナウイルス感染症が1,573名の罹患があり、多くの学校で閉鎖措置が取られた。今年度は、新学期が開始し、まだ数日ではあるが、インフルエンザが29名、新型コロナウイルス感染症が5名、水痘3名、溶連菌感染症、感染性胃腸炎が各1名の報告がある。

なお、4月8日以降、インフルエンザ並びに新型コロナウイルス感染症による閉鎖はない。今後も、感染予防対策の徹底を図ってまいりたい。

《委員から報告》

感染症の追加報告をする。今お話のように、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症は減ってきた。先週、第15週、4月8日から4月14日、印旛市郡医師会内は、インフルエンザが総数96で定点当たり4、新型コロナウイルス感染症が132で、定点当たり5.5。その前の週の第14週、4月1日から4月7日は、インフルエンザのほうが多くて、定点当たり7.38であったが、新型コロナウイルスは6.08なので、先週逆転して新型コロナウイルス感染症のほうが多くなった。共に減少はしているが、インフルエンザの減少の仕方が大きい。ちなみに第13週、3月25日から3月31日までは、インフルエンザが定点当たり17.21であったが、大体半分になった。ただ、新型コロナウイルス感染症は、第13週8.54であったので、減ってはいるが、減り方がインフルエンザよりは小さい傾向にある。例年では、インフルエンザは冬を過ぎれば減ってきているが、最近は夏でもインフルエンザが出ているので、引き

続き注意をしていただきたい。出ているといっても、かなり少ないので、ほとんど問題にはならない数字になってくると思う。ただ、新型コロナウイルス感染症については、どのくらいの傾向というか、減り方かは今見通せないで、引き続き学校でも注意をしていただきたい。4月1日から12日まで5名ということなので、学級閉鎖とか、そこまでの影響はないだろうと思う。

あとは溶連菌感染症、A群溶血性レンサ球菌の感染症と感染性の胃腸炎が、まだ横ばい。ちなみに溶連菌感染症の定点は、先週、第15週、4月8日から4月14日では5.94、感染性胃腸炎が5.75であった。前の週の第14週、溶連菌感染症が5.31で、感染性胃腸炎が6であったので、溶連菌はちょっと増えている。感染性胃腸炎は横ばいという状況。夏に向かって感染性胃腸炎が増える可能性があるので、注意をしてほしい。

新学期なので、これから学校生活に児童生徒が慣れてくると思うが、感染の注意は引き続き怠らないようにしていただきたい。

3 議決事項

議案第1号 佐倉市学校歯科医の委嘱について

指導課長より上程議案の説明

内容：既に令和5年2月の教育委員会会議において、令和5、6年度の学校歯科医委嘱議案について決議されているが、志津中学校の学校歯科医を務めていただいていた工藤純一先生から、本人の体調不良により退任したい旨の申出があった。それに伴い、後任について、印旛郡市歯科医師会佐倉地区代表に推薦依頼をしたところ、1ページのとおり、志津中学校の学校歯科医委嘱候補者として秀島潔先生の推薦があった。このたび志津中学校学校歯科医として委嘱する。したがって、3ページの学校歯科医委嘱名簿43番に追加する。

委嘱期間については、令和6年5月1日から令和7年3月31日までとする。

4ページ目は委嘱状（案）、5ページ目からは佐倉市立小学校及び中学校管理規則を添付している。

《議決事項についての質疑概要》

質疑なし

《議決結果》

可決

4 協議事項

協議事項（1）令和6年度佐倉市教育施策について

教育総務課長より上程協議題の説明

内容：令和6年度佐倉市教育施策（案）、1ページ。中段の令和5年度施策の主な成果である。令和5年度は、『第3次佐倉教育ビジョン前期推進計画』の最終年として、令和5年度末の達成目標に向けて着実かつ効果的な授業展開と教育内容の充実に努めた。令和5年度の施策として第3次佐倉教育ビジョン前期推進計画の重点事業のうち特色のあるものなど、主な施策の成果を四角

い枠内に記載している。

2 ページ。主な項目を申し上げると、(7)、学校トイレの改修工事について、小学校3校、中学校4校で実施した。

(14)、臼井中学校の陸上競技部にて土日祝日の部活動地域移行を実施した。

3 ページ。(17)、保護者に扶養されている3番目以降の児童生徒を対象とした給食費補助を実施した。また、給食で提供されている米とパンを市が購入することで、食材費の高騰で圧迫されていた給食会計を支援した。

(22)、夢咲くら館における様々なイベントを実施した。

続いて、5 ページ。令和6年度施策の特徴及び重点項目である。本施策は、教育委員会が実施する施策について掲載しており、令和6年度の教育施策は、今年度から市長部局に移管された文化、行政部局の施策については除き、教育委員会が所管する施策について、新しい『第3次佐倉教育ビジョン中期推進計画』及び令和6年度当初予算に基づき作成している。

四角い枠の中、重点項目の主な事業について説明する。

(1)、学力向上・学習内容の充実に取り組みますでは、①、佐倉市学習状況調査の実施、②、③、ICTを活用した情報教育の推進及びICTを活用した授業実践のデータベース化。

(2)、豊かな人間性を育む教育に取り組みますでは、②、部活動地域移行の事業拡充。

(3)、良好な学習環境を整備しますでは、①、継続で学校トイレの改修を挙げた。

続いて、6 ページ。(5)、安心して学校に通える環境を提供しますでは、①、いじめ防止対策の推進、③、継続として第3子以降学校給食費補助事業、④、拡充として学校給食食材支援事業を挙げている。

続いて、7 ページ。教育ビジョンに基づく施策の内容である。個別具体的な主な取組について説明する。

最初に、確かな学力の向上の①については、全国学力・学習状況調査への参加、佐倉市独自の学習状況調査の実施について記載している。対象については、令和6年度に実施する学年、教科についてそれぞれ記載している。②、③については、ICTを活用した学習活動の推進及び学習環境の整備の推進について記載している。

8 ページ。⑦の研究モデル校の指定について、令和6年度のモデル校を記載している。

続いて、9 ページ。教職員の指導の質の向上の③については、拡充として小学校の教科書改訂に伴い、教師用の教科書指導書を購入していく。

続いて、11 ページ。心の教育の充実の②、拡充として部活動地域移行について、令和6年度は市内の全中学校11校で1部活動ずつ実施する。

12 ページ。⑥、校外活動に関する新規項目として、学校教育におけるESD、持続可能な社会の創り手を育む教育の充実を図る。

続いて、13 ページ。食育の推進・健やかな体の育成の①の一番下の項目だが、民間プールと連携した水泳指導について、前年度まではプール施設を持たない佐倉小学校、西志津小学校で実施していたが、令和6年度から老朽化

により自校での水泳指導の実施が困難な志津小学校、南志津小学校、和田小学校、弥富小学校においても実施する。

続いて、18、19 ページ。教育に係る保護者の負担の軽減の④、多子世帯の保護者の経済的負担軽減のため、第3子以降の給食費補助を継続する。

⑤、物価高騰対策として、給食で提供する米とパンを市が購入することで、安定した給食を提供する。

続いて、22 ページ。社会教育施設の整備の推進では、令和6年度の社会教育施設の整備について掲載している。

最後に、A 4、1 枚の参考資料、令和6年度佐倉市教育施策の主なポイント。先ほど説明した事項について、おおむねこちらにまとめてある。

次に、今後の予定について。本日の協議においていただいた意見等を踏まえて、必要に応じて修正をし、次回5月の定例教育委員会会議において議案審議をお願いする予定である。

《協議事項についての質疑概要省略》

5 教育長閉会宣言